

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成24年6月19日

防災意識の向上へ 土砂災害防止「全国の集い」長崎で開催

発信元

雲仙復興事務所
調査・品質確保課 峰松 知裕

平成24年6月6日、第30回土砂災害防止「全国の集い」が長崎市公会堂で開催されました。今年で長崎豪雨災害から30年が経過するため、災害の記憶の風化防止と防災意識向上を目的に、市民や行政職員を交えたパネル討論等が行われました。

群馬大学大学院教授の片田敏孝氏は特別講演で①想定にとられるな②最善を尽くせ③率先避難者たれーと避難3原則を紹介しました。

パネル討論では長崎高城台自治会長の武本家彦氏など5名がパネリストとして登壇し、長崎大水害の被害や市民の防災の取り組みが報告されました。

コメンテーターの国土交通省南哲行砂防部長は災害を契機に開発を行う上で防災の観点からも検討するようになったと、防災意識の変化についても語られました。

6月7日には現地研修会があり、参加者は雲仙普賢岳直轄火山砂防事業の無人化工事現場や農業研修所跡等火山災害を受けた地や芒塚・山川河内地区等長崎豪雨災害の被災箇所の視察がありました。

